

令和6年度

大阪府小学生すくすくウォッチ
結果に関する参考資料

柏原市教育委員会

1. 目 的

子どもたち一人ひとりが自らの強みを知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。

2. 調査概要

(1) 調査日 令和6年4月17日(水)～4月25日(木)

(2) 対象学年 小学校 第5・6学年

(3) 調査内容

第5学年： 国語・算数・

理科・教科横断型問題(わくわく問題)・アンケート

第6学年： 理科・教科横断型問題(わくわく問題)・アンケート

教員： アンケート

※アンケート調査はオンライン方式で実施。

《教科問題》

当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を問う問題等

《教科横断型問題(わくわく問題)》 ※第5・6学年共通問題

特定の教科の枠にとらわれず、複数の文書や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断の根拠や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等

《児童アンケート》

児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力、好奇心等に関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等

※調査問題等の資料は、大阪府ホームページに掲載されています。

調査問題：

https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/sukusuku/r6_monndai.html

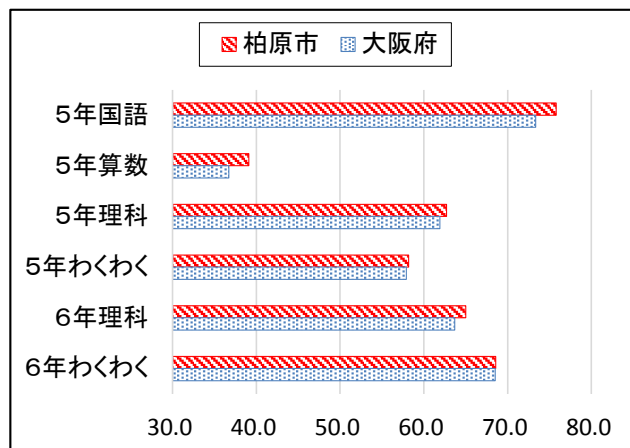
結果概要(大阪府教育庁)：

<https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/9078/r06sukusukukekkagaiyou.pdf>

各教科・教科横断型問題(わくわく問題) 【平均正答率】

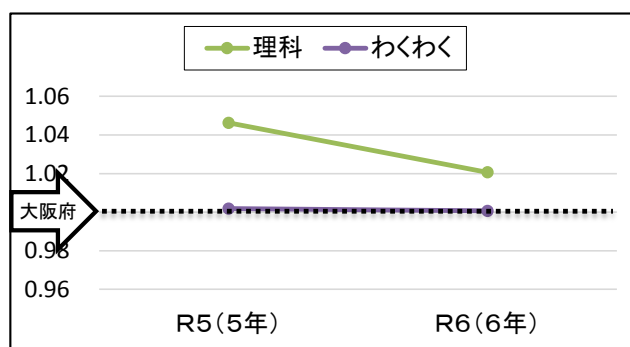
① 平均正答率(単位: %)

	柏原市	大阪府	対府比
5年国語	75.8	73.4	1.03
5年算数	39.1	36.7	1.06
5年理科	62.7	61.9	1.01
5年わくわく	58.2	57.9	1.00
6年理科	65.0	63.7	1.02
6年わくわく	68.6	68.5	1.00



② 同一集団(現6年)の経年変化(対大阪府比)

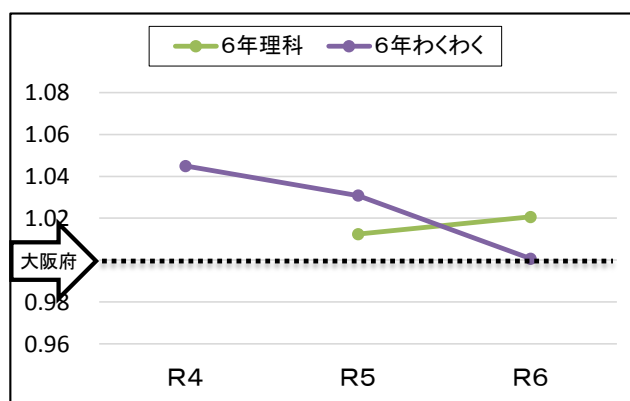
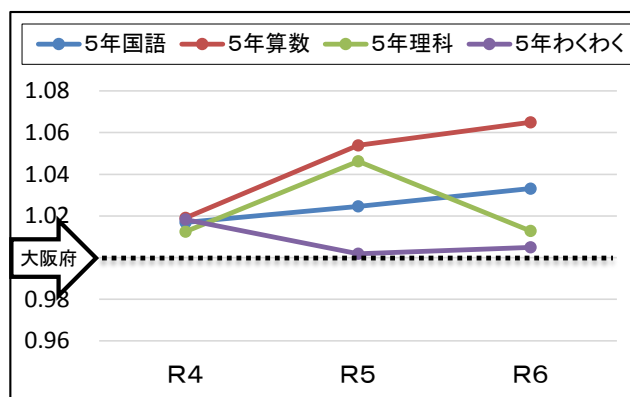
	R5(5年)	R6(6年)
理科	1.05	1.02
わくわく	1.00	1.00



③ 同一学年での比較(対大阪府比)

	R4	R5	R6
5年国語	1.02	1.02	1.03
5年算数	1.02	1.05	1.06
5年理科	1.01	1.05	1.01
5年わくわく	1.02	1.00	1.00

	R4	R5	R6
6年理科		1.01	1.02
6年わくわく	1.04	1.03	1.00



各教科【平均正答率(問題別概況)】

5年【国語】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差 (市-府)
				柏原市	大阪府	
全体			17	75.8	73.4	2.4
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	15	77.9	75.0	2.9
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	73.1	70.7	2.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	46.2	51.3	▲ 5.1
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	—	—	—	—
		B 書くこと	5	68.7	64.9	3.8
		C 読むこと	—	—	—	—
評価の観点		知識・技能	17	75.8	73.4	2.4
		思考・判断・表現	5	68.7	64.9	3.8
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式		選択式	8	79.8	78.0	1.8
		短答式	9	72.2	69.3	3.0
		記述式	—	—	—	—

5年【算数】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差 (市-府)
				柏原市	大阪府	
全体			7	39.1	36.7	2.4
学習指導要領の領域	数と計算		2	44.0	38.4	5.5
	図形		3	30.6	30.4	0.2
	測定／変化と関係		2	44.0	38.4	5.5
	データの活用		2	47.0	44.6	2.5
評価の観点	知識・技能		4	45.9	42.5	3.4
	思考・判断・表現		4	33.5	32.2	1.3
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—	—
問題形式	選択式		2	47.0	44.6	2.5
	短答式		3	36.9	34.8	2.2
	記述式		2	34.4	31.8	2.6

5年【理科】

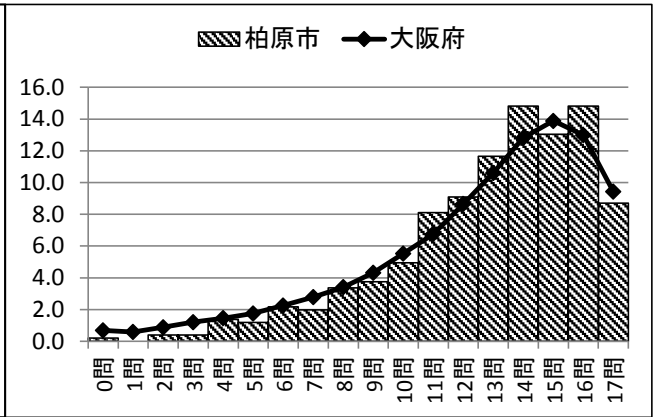
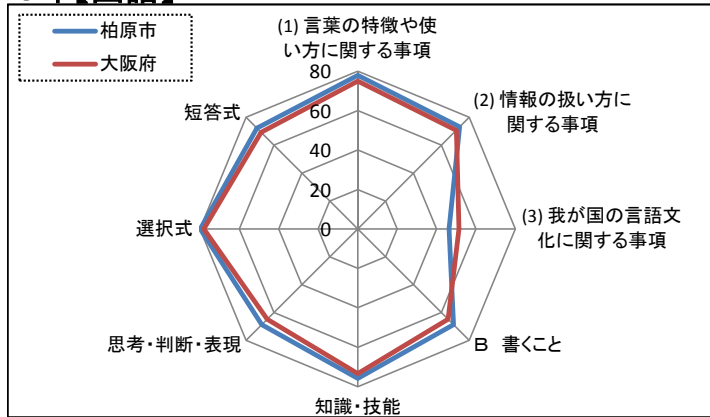
分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差 (市-府)
				柏原市	大阪府	
全体			11	62.7	61.9	0.8
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域		7	59.6	60.4	▲ 0.8
	「粒子」を柱とする領域		1	78.9	74.9	4.0
	「生命」を柱とする領域		1	89.5	86.4	3.2
	「地球」を柱とする領域		2	52.2	48.4	3.7
評価の観点	知識・技能		7	68.4	67.3	1.1
	思考・判断・表現		4	52.7	52.5	0.2
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—	—
問題形式	選択式		6	63.3	63.0	0.3
	短答式		3	75.5	73.0	2.5
	記述式		2	41.8	42.1	▲ 0.3

6年【理科】

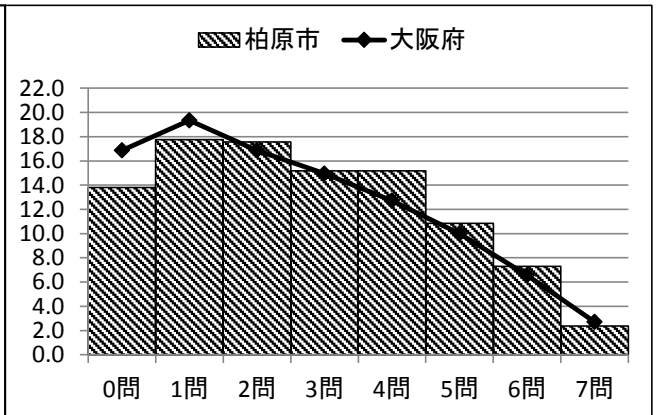
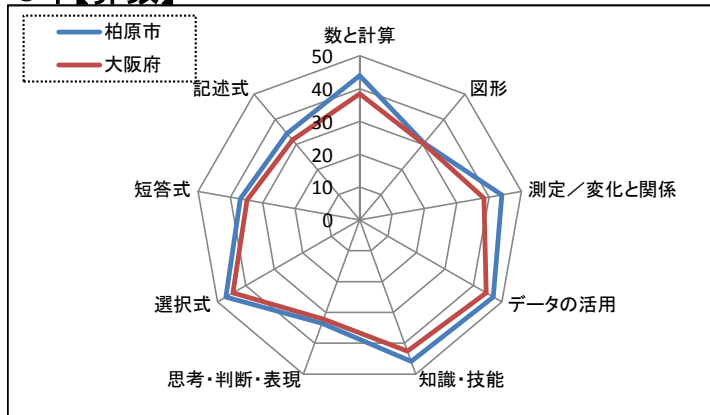
分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差 (市-府)
				柏原市	大阪府	
全体			11	65.0	63.7	1.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域		6	63.7	63.4	0.3
	「粒子」を柱とする領域		1	77.1	75.9	1.2
	「生命」を柱とする領域		2	81.4	82.0	▲ 0.7
	「地球」を柱とする領域		2	46.6	40.3	6.4
評価の観点	知識・技能		7	70.0	69.9	0.0
	思考・判断・表現		4	56.3	52.7	3.6
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—	—
問題形式	選択式		6	65.5	65.1	0.4
	短答式		3	79.9	80.0	▲ 0.0
	記述式		2	41.1	34.9	6.2

各教科【平均正答率(問題別概況)】

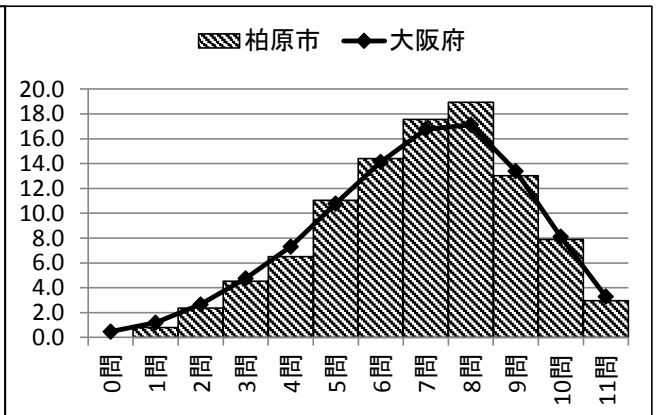
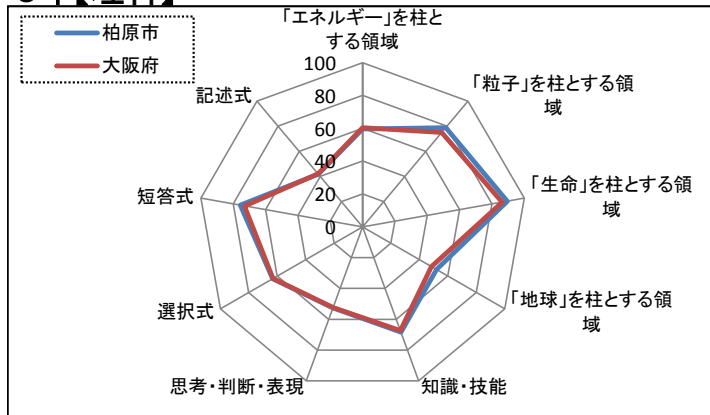
5年【国語】



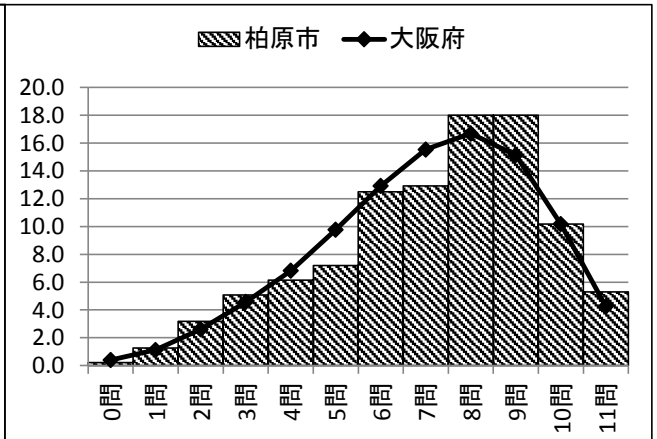
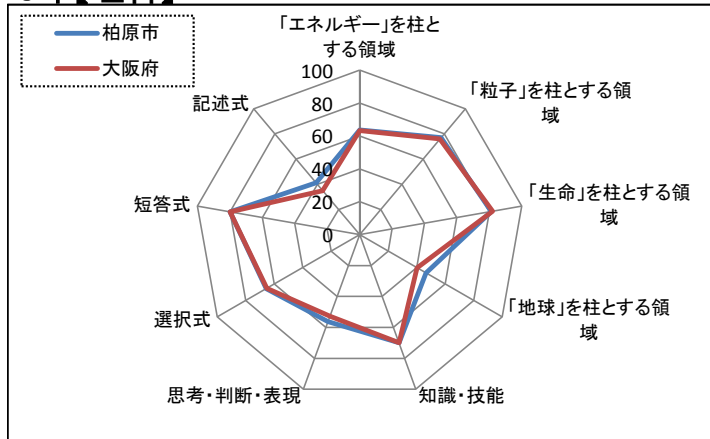
5年【算数】



5年【理科】



6年【理科】



○正答率が高い問題

国語(5年)

問題番号	9		
出題の趣旨	一文を二文に分けて書くとき、文と文の意味のつながりを考え、適切な接続語を使う。		
領域	言葉の特徴や使い方に 関する事項	評価	知識・技能
形式	短答式		

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	87.7	2.2
大阪府	81.4	4.2

正答例 だから

④ 次の明にならない、「もとの文」を、意味が変わらないように二つの文に分けて書き直します。
【書き直した文】の()にあてはまる言葉を、書きましょう。

【もとの文】
カーテンを開けると、部屋が明るくなった。

【書き直した文】
カーテンを開けた。()、部屋が明るくなった。

【もとの文】
のどが渇いたので、水を飲んだ。

【書き直した文】
のどが渇いた。()、水を飲んだ。

○正答率が高い問題

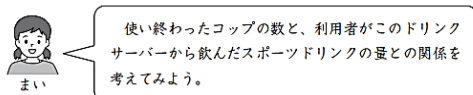
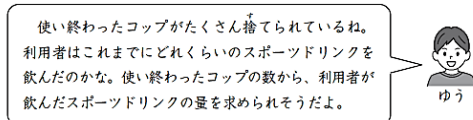
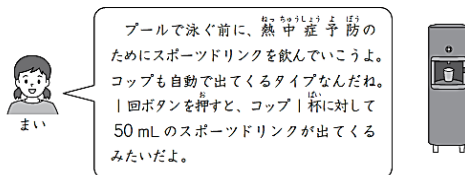
算数(5年)

問題番号	2	(1)	
出題の趣旨	伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、□、△を用いてその関係を式で表す。		
領域	数と計算 測定／変化と関係	評価	知識・技能
形式	短答式		

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	45.6	6.9
大阪府	39.1	11.4

② 7月のある土曜日、ゆうさんとまいさんは、近くにあるプールに行きました。

(1) 着替えを終えた2人は、プールの施設内にある、スポーツドリンクを無料で飲めるドリンクサーバーを見つけました。



下の表は、使い終わったコップの数と、利用者が飲んだスポーツドリンクの量について表したものです。

【使い終わったコップの数と利用者が飲んだスポーツドリンクの量】

使い終わったコップの数(こ)	0	1	2	3	...
利用者が飲んだスポーツドリンクの量(mL)	0	50	100	150	...

問1 使い終わったコップの数を□こ、利用者が飲んだスポーツドリンクの量を△mLとすると、□と△の関係を表にしましょう。

正答例 $\Delta = 50 \times \square$

○正答率が高い問題

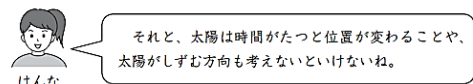
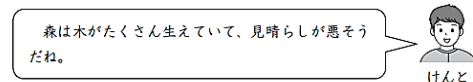
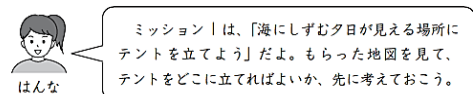
理科(6年)

問題番号	1	(1)	
出題の趣旨	太陽の沈む方向について理解する。		
領域	「地球」を柱とする領域	評価	知識・技能
形式	選択式		

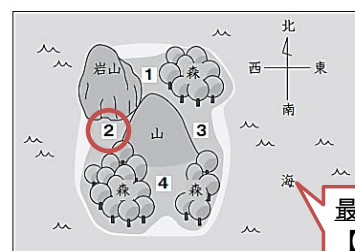
	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	48.1	0.0
大阪府	41.1	0.2

① はんなさんたちは町内会のすくすくキャンプでわくわく島に行きます。すくすくキャンプでは、「ミッション1」から「ミッション3」に挑戦します。

(1) はんなさんたちは、事前に伝えられた「ミッション1」について、キャンプに参加する前に相談しています。



問1 はんなさんたちは「海にしずむ夕日が見える場所」をさがしています。下の地図の1から4までの中から、最もふさわしい場所を1つ選びましょう。



最も多い誤答
【解答類型3】= 3
反応率=39.4%(府43.1%)

正答例 2

▼正答率が低い問題

国語(5年)

問題番号	1		
出題の趣旨	書かれた文の意味を正しく捉え、適切な漢字を使って書く。		
領域	言葉の特徴や使い方に 関する事項	評価	知識・技能
		形式	短答式

	正答率(%)	準正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	10.1	76.5	6.5
大阪府	16.1	69.4	8.6

正答例 健康への関心の高さに感心した

① 次の文の——線部を、漢字に直せるものは、すべて漢字を使って書き直しましょう。
風邪の予防についての友だちの発表を聞いて、けんこうへのかんしんのたかきにかんしんした。

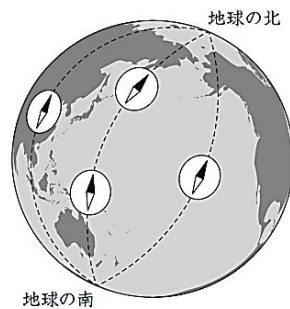
▼正答率が低い問題

理科(5年)

問題番号	2	(6)	
出題の趣旨	方位磁針の性質から地球の磁場について考えて、書き表す。		
領域	「エネルギー」を柱とする領域	評価	思考・判断・表現
		形式	記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	22.3	16.6
大阪府	27.3	17.1

(6) るいさんたちがじしゃくについて調べていると、下の図を見つけました。



方位じしんは地球のいろいろな場所で、図のようにN極が北をさすんだね。

どうしてそうなるのかな。



ア と考えると、いろいろな場所で方位じしんのN極が北をさすことが説明できそうだね。

正答例 地球はひとつのじしゃくで、北がS極になっている

問い ひなたさんの言葉の中にある ア にあてはまる文章を「地球」という言葉を使って書きましょう。

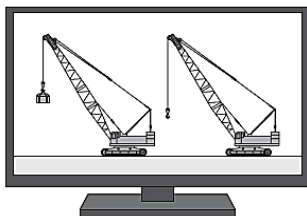
▼正答率が低い問題

理科(6年)

問題番号	2	(4)	①
出題の趣旨	振り子の実験において、時間を測定する際の誤差を小さくする方法について理解する。		
領域	「エネルギー」を柱とする領域	評価	知識・技能
		形式	選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	68.2	0.2
大阪府	72.6	0.6

(4) るいさんたちが映像を見ていると、今度はクレーン車が映りました。



クレーン車のうで部分の穴からぶら下がっているところがゆれているね。



映っている2台のクレーン車では、ゆれる速さがちがうように見えるね。荷物があるからかな。



どうしてゆれ方がちがうのか、ふりこを使って確かめてみよう。

るいさんとひなたさんは、それぞれ同じ長さのひもと同じ重さのおもりを使い、初めの角度を20°にして、おもりが1個のときと3個のときのふりが往復する時間を次の図のようにしてはかりました。

	おもり1個	おもり3個
るいさん		
ひなたさん		

※3個のおもりをすべてひもの穴につけている。

※3個のおもりをたてにつけている。

問い ふりが1往復する時間を正確にはかる方法として、最も適切なものはどれですか。次の1から4までの中から1つ選びましょう。

- ふりが10往復する時間を1回はかり、それを10でわった数を求める。
- ふりが1往復する時間を10回はかり、いちばん大きい数を求める。
- ふりが1往復する時間を10回はかり、いちばん小さい数を求める。
- ふりが1往復する時間を1回はかり、それを10でわった数を求める。

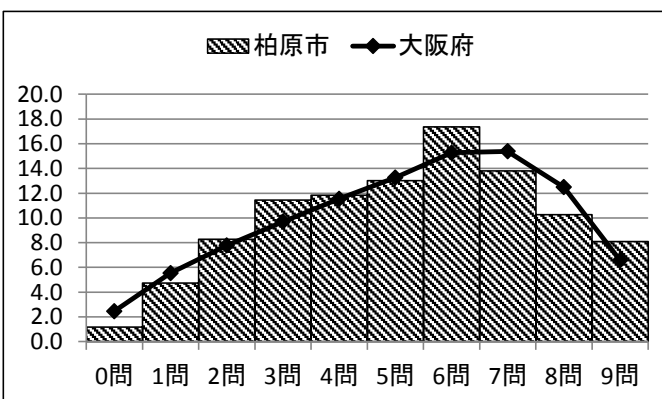
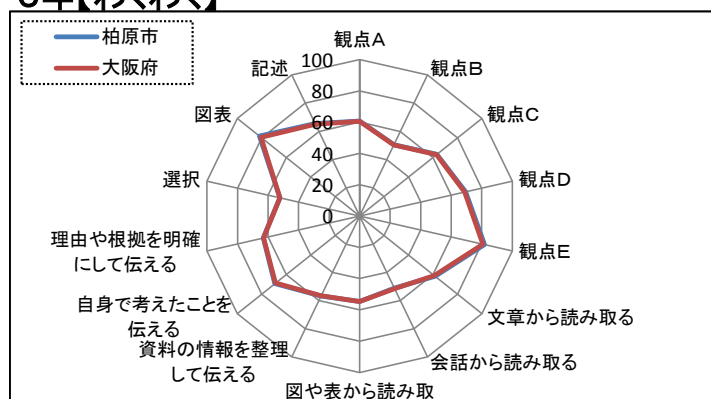
正答例 1

最も多い誤答
【解答類型2】=2
反応率=13.8%(府12.6%)

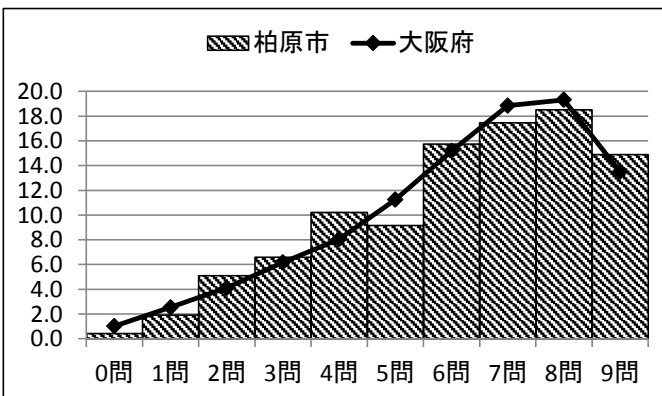
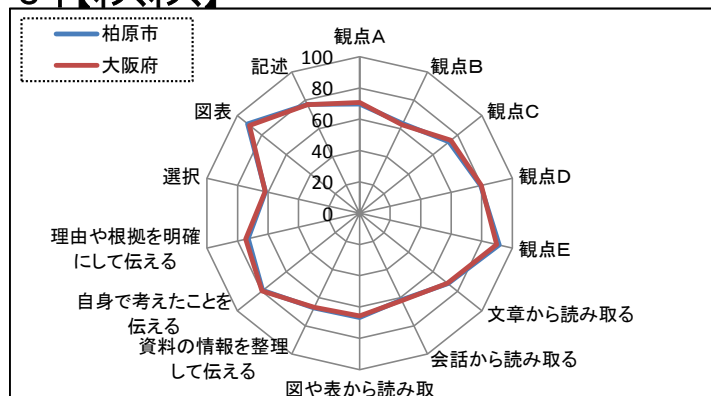
教科横断型問題(わくわく問題)【平均正答率(問題別概況)】

分類		区分	対象 問題数 (問)	5年			6年			5・6年全体		
				平均正答率(%)		差 (市-府)	平均正答率(%)		差 (市-府)	平均正答率(%)		差 (市-府)
				柏原市	大阪府		柏原市	大阪府		柏原市	大阪府	
全体			9	58.2	57.9	0.3	68.6	68.5	0.0	63.2	63.3	▲ 0.1
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 正しくとらえる。		4	60.7	60.5	0.2	69.6	70.7	▲ 1.1	65.0	65.6	▲ 0.6
	B 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 それをもとに論理的に考える。		5	50.7	50.4	0.2	63.6	62.5	1.1	56.9	56.5	0.3
	C 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 それをもとに新たな課題を 考える。		2	63.1	62.8	0.3	73.1	74.6	▲ 1.6	67.9	68.8	▲ 0.9
	D 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 それをもとに自分の考えを まとめ、伝える。		3	69.4	68.8	0.6	79.2	79.7	▲ 0.5	74.1	74.3	▲ 0.2
	E 興味・関心のある事からに ついて、意欲的に工夫して相手 に伝える。		1	81.9	80.7	1.2	91.5	89.9	1.6	86.5	85.3	1.2
問題を とらえる	文章から読み取る		6	61.7	61.1	0.6	72.1	71.8	0.4	66.7	66.5	0.2
	会話から読み取る		3	51.2	51.6	▲ 0.3	61.5	62.1	▲ 0.6	56.2	56.8	▲ 0.7
	図や表から読み取る		7	54.7	54.6	0.1	66.7	65.7	0.9	60.4	60.2	0.2
伝える	資料の情報を整理して 伝える		7	56.8	56.5	0.3	67.3	66.8	0.5	61.8	61.7	0.2
	自身で考えたことを伝 える		3	69.4	68.8	0.6	79.2	79.7	▲ 0.5	74.1	74.3	▲ 0.2
	理由や根拠を明確にし て伝える		2	63.1	62.8	0.3	73.1	74.6	▲ 1.6	67.9	68.8	▲ 0.9
問題 形式	選択		5	52.3	52.2	0.1	61.8	61.9	▲ 0.1	56.8	57.1	▲ 0.2
	図表		1	81.9	80.7	1.2	91.5	89.9	1.6	86.5	85.3	1.2
	記述		4	65.6	65.0	0.6	77.1	76.9	0.2	71.1	71.0	0.1

5年【わくわく】



6年【わくわく】



○正答率が高い問題

わくわく(6年)

	正答率(%)		無解答率(%)	
柏原市	34.3	51.7	5.5	3.4
大阪府	33.2	46.1	7.1	3.2
	(5年)	(6年)	(5年)	(6年)

問題番号	2	(2)					
出題の趣旨	児童にとって身近な「ダンス」を題材とし、物事の整理の仕方や、複数の資料を読み取り論理的に思考する力を問う内容。						
観点	B	問題の とらえ方	会話から 図や表から	伝え方	資料の情報 を整理	形式	選択

- ② みゆきさんたちのクラスは、来月行われる運動週間に、クラスのみんなで作ったダンスを発表します。体育係のみゆきさんたちは、自分たちが見つけた「めっちゃSUKUSUKUダンス」をもとにダンスを考えることにしました。

「めっちゃSUKUSUKUダンス」とは

○いろんな曲で踊ることができます。

○下の図のA～Dのようなふりつけがあり、これらを自由に組み合わせて踊ることができます。

○自分たちで考えた、「オリジナルのふりつけ」を加えることもできます。

○曲に合わせて、隊形移動を入れることもできます。

☆自分たちだけでなく、見ている人たちにも楽しんでもらえるようにダンスを工夫してみましょう！

ーめっちゃSUKUSUKUダンスー

ふりつけ A

ふりつけ B

ふりつけ C

ふりつけ D

参考：大阪府「めっちゃWAKUWAKUダンス」



自分たちも楽しく体を動かして、見ている人たちにも楽しんでもらえるダンスにしたいな。

- (2) みゆきさんたちは曲を決めて、ダンスの練習を始めました。すると、たけるさんから次のような提案がありました。



図1のように、赤ぼうしをかぶった人と白ぼうしをかぶった人が、順番に横一列に並んでいるとするよ。ふりつけとふりつけの間に、曲に合わせて同時に動き、図2のような隊形に移動してはどうか。

図1【運動場を上から見た図(移動前)】

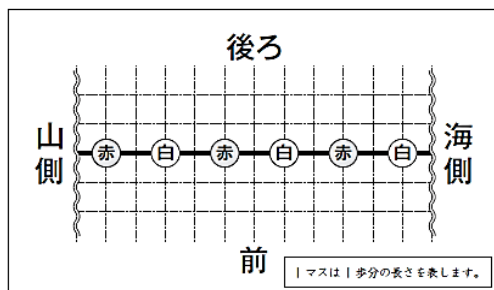
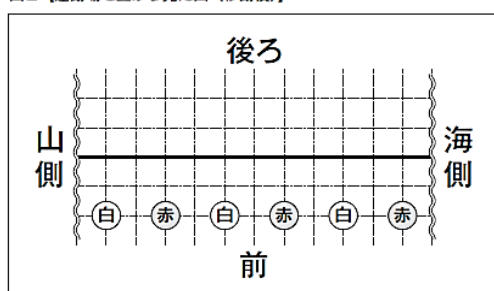
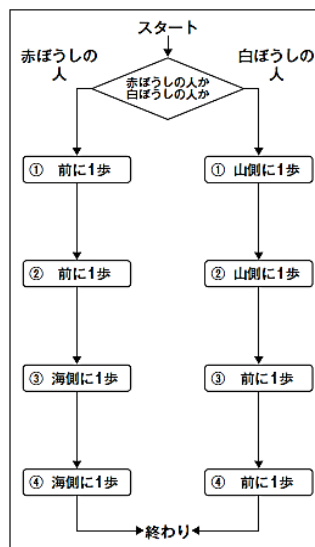


図2【運動場を上から見た図(移動後)】

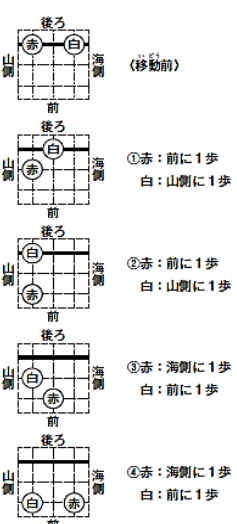


なるほど。でも、赤ぼうしをかぶった人と白ぼうしをかぶった人がぶつからないようにしながら、動く必要があるね。赤白のペアで下の【移動の方法】のように移動してはどうか。どんなふうに動くのかも、【一組だけ取り出した図】を使って、説明するね。

【移動の方法】



【一組だけ取り出した図】

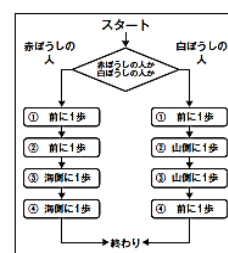


なるほど。これなら同時に動いても、ぶつからずに移動できるね。他にもぶつからずに移動する方法を考えてみたよ。

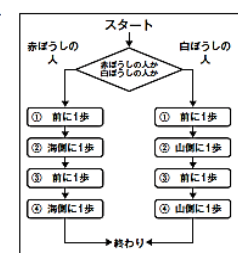


- 問い たけるさんが考えたアからウのそれぞれの移動の方法について、ぶつからずに移動後の決めた位置まで移動できるものに○を、ぶつかってしまうものに×をつけましょう。

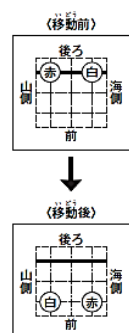
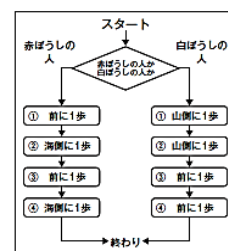
ア



イ



ウ



正答例

ア ○ | イ × | ウ ○

▼正答率が低い問題

わくわく(6年)

問題番号	1	(3)	
出題の趣旨	身近な乗り物である「自転車」を題材とし、文章を読んで視覚的なイメージをとらえる力、日常的な場面の中で算数的な能力を使って問題を解決する力、さらに自分を取り巻く諸課題を発見し解決する力を問う内容。問題を解いていく中で、現在の自転車の形に至る技術の発展の歴史を学び、さらにそれを未来につなげるよう考えさせることをねらいとしている。		
観点	B・C・D	問題の とらえ方	会話から 伝え方 自分の考え 理由や根拠 形式 記述

	正答率(%)		無解答率(%)	
柏原市	71.0	76.8	6.1	5.7
大阪府	70.9	80.8	7.5	4.5
	(5年)	(6年)	(5年)	(6年)

① ラウラさんたちは自転車のことを調べに博物館に来ました。

- (3) ラウラさんたちは、博物館の見学で、学んだことをクラスで発表するための資料を作っています。発表の一つとして、【自転車に関する困りごと】をもとにして、「できたらいいな！こんな自転車！」を考えて、紹介することにしました。



ひかる

自転車に乗りたけれど、転んでしまいそうで、乗るのがこわいと思っている人もいるんじゃないかな。
転びそうになるのをセンサーが感知して、自動で元の体勢に戻る自転車があったら、乗るのがこわいと思っている人も安心して乗れると思うな。

【ひかるさんの考えた自転車】

できたらいいな！こんな自転車！

自転車に関する困りごと
自転車に乗りたけれど、転ぶのがこわいので、乗れない
説明
転びそうになるのをセンサーが感知して、自動で元の体勢に戻る自転車

わたしは、社会の授業で勉強したことをもとに考えてみたよ。

捨てられた自転車を処分するときに、どうしてもリサイクルできない部品があるそうなので、すべてリサイクルできる材料で作られた自転車ができたらいいな。

すべてリサイクルできれば、環境を守ることにつながるんじゃないかな。



ラウラ

【ラウラさんの考えた自転車】

できたらいいな！こんな自転車！

自転車に関する困りごと
捨てられた自転車を処分するときに、リサイクルできずに、ごみになってしまう部品がある
説明
すべてリサイクルできる材料でできている自転車



かける

【自転車に関する困りごと】って、自転車に乗っているときだけじゃないんだね。
他にも【自転車に関する困りごと】はないかな。

問い あなたの考える【自転車に関する困りごと】を解決するために、どんな自転車があったらいいと考えますか。

【自転車に関する困りごと】のらんに、どんな困りごとがあるかを書きましょう。また、【説明】のらんに、その困りごとを解決するためにどんな自転車を考えたか文章で書きましょう。

※下の自転車の絵は、【説明】を考えるときに使ってもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。



正答例

自転車に関する困りごと：雨の日はぬれてしまうから、自転車に乗ることができない。

説明：屋根が出てきて、雨の日でもぬれずに運転できる自転車。

児童アンケート【回答状況一覧】

- ・ 肯定的回答の割合について比較（一部時間等による比較、※印で詳細を記載）。
- ・ 「-」は選択肢の内容等をふまえ、比較していない質問項目。

「◎」+10以上 「○」+5以上 「▽」-5以下 「▼」-10以下

※同一集団

		番号	質問事項	府との比較			6年 (経年)
				全体	5年	6年	
《未来に向かう力 と好奇心》 に関する項目		1	「自分にはよいところがある」と思う				
		2	将来の夢や目標を持っている				
		3	友だちと協力するのは楽しい				
目標に向 かって頑 張る力	粘り強さ	4	頑張りやである		○		
		5	難しいことがあっても、あきらめない	○	○		
		6	何事にも一生けんめい努力する	○	○		
	ぶれない 心 ※反転処理	7	終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい			○	○
		8	新しいアイデアや計画を思いつくと、前のアイデアや計画から関心がなくなる		▽		
		9	物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう				
人と関わ る力	共感する 力	10	悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる				
		11	人が頑張っているのを見たり聞いたりすると、応援したくなる				
		12	まわりに困っている人がいると、早く解決するといいいなあと思う				
	相手の理 解	13	自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわかつようとする				
		14	人と対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する				
15		人の話を聞くときは、その人が言いたいことは何かを考えながら聞く					
気持ちを コントロ ールする力	切り替え	16	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している				
		17	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる		○		
		18	イライラを感じるときは、考え方を変えて落ち着いていられるようにする		○		▽
	落ち着き ※反転処理	19	自分の気持ちを態度や表情に出す	-	-	-	-
		20	つらい気持ちになることがあったときは、態度や表情に出す	-	-	-	-
21		自分によいことがあったとき、その気持ちを態度に出さない	-	-	-	-	
好奇心	色々なこ とへの興 味や関心	22	新しいことに挑戦することは好きだ				
		23	誰もやったことのない物事にとても興味がある				
		24	どこに行っても、新しい物事や経験を探す				
	自分の疑 問に対す る答えを 求める力	25	はっきりした明快な答えが出るまでずっと考える				▽
		26	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる				
27		ある考えを理解するために、必要な知識をすべて学ばないと満足できない					
		28	先生は、あなたのよいところを認めてくれている				
		29	先生は、あなたが間違ったことをしたとき叱ってくれる		○		
		30	あなたには、困ったときに相談できる先生がいる				
		31	あなたには、困ったときに相談できる友だちがいる				
		32	あなたの学級は、友だちのよいところを互いに認め合える				
		33	あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない	○	◎		▼
		34	あなたの学級は、協力的である				
		35	あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う				
		36	あなたの学級は、日直や係の仕事を頑張っている				
		37	あなたの学級は、日直や係の仕事を自分たちで考えて取り組んでいる				
		38	学級会の話し合いでは、少数意見も大切にしている		○		
		39	学級会では、自分たちで意見を出し合って、ものごとを決めている				○
		40	その時間のめあてを意識して学習している		○		
		41	その時間に学んだことについて、ふり返りをしている				
		42	わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている				
		43	文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる				
		44	黒板に書かれたことをノート等に写している				
		45	自分の考えをノート等にも書いている			▽	
		46	先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等にも書いている				
		47	自分の考えを積極的に発言している				▼
		48	話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている				
		49	話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている				
		50	話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている				
		51	授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている				

児童アンケート【回答状況一覧】

- ・ 肯定的回答の割合について比較(一部時間等による比較、※印で詳細を記載)。
- ・ 「-」は選択肢の内容等をふまえ、比較していない質問項目。

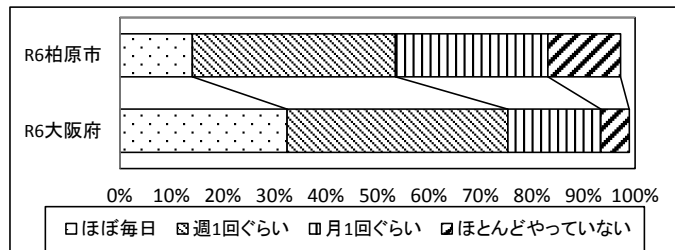
「◎」+10以上 「○」+5以上 「▽」-5以下 「▼」-10以下

※同一集団

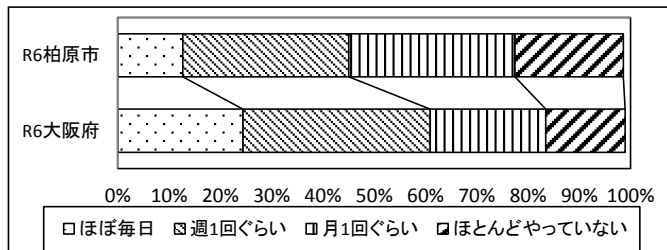
番号	質問事項	府との比較			6年 (経年)
		全体	5年	6年	
52	授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分にあった問題やドリル等に取り組むことはどれくらいありますか ※週1回以上・月1回未満	▽		▼	▽
53	授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいありますか ※週1回以上・月1回未満	▼	▽	▼	
54	授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか ※週1回以上・月1回未満	▼	▽	▼	
55	授業で、コンピュータやタブレットを使って、プレゼンテーション資料等にまとめて発表することはどれくらいありますか				▽
56	自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強をしている(宿題は除く)	○	○	○	
57	前にやっとうまくいったやり方を試している				○
58	自分は何が得意で何が苦手かをわかっている				
59	課題や問題に取り組んでいる途中で、うまくいかなかったときは、やり方を変えている				
60	読んでいてわからなくなったときは、もう一度読み直してみる				
61	朝食を毎日食べている				
62	家の人と、その日の出来事について話をしている				
63	家の人に褒められることがある				
64	家の人と一緒に、遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりすることがある				
65	テレビや新聞等でニュースを見ている				
66	家の中にホッとすることがある				
67	家の中に決まった勉強場所がある	○	○		
68	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)				○
69	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNS等)にスマートフォンやタブレット等を使っていますか				▽
70	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか				
71	ふだん(月曜日から金曜日)どれくらいの時刻に寝ていますか	-	-	-	-
72	あなたは「家庭の仕事」をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください	-	-	-	-
73	「家庭の仕事」をすることはどれくらいありますか	-	-	-	-
74	学校がある日に、「家庭の仕事」は1日のうちどれくらいしていますか。日によって変わるときは、この1か月で1番長かった日の時間で教えてください	-	-	-	-
75	「家庭の仕事」をしていることによって、あなたに起こっていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください	-	-	-	-

(参考)「ICT活用」に関する教員アンケート 回答状況

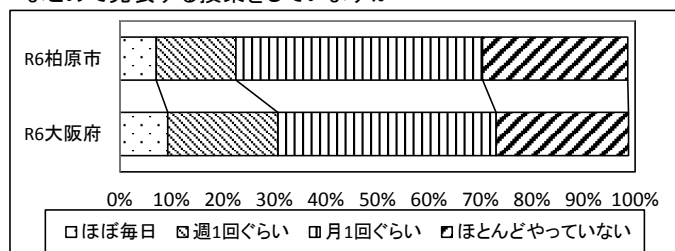
(45)コンピュータやタブレットを使って、児童が必要な情報を調べる授業をしていますか



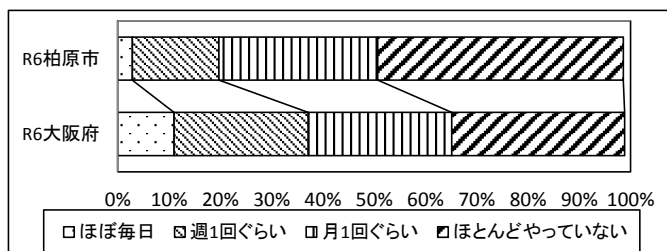
(46)コンピュータやタブレットを使って、児童が自分の考えを書きこんだり、まとめたりして、考えを共有する授業をしていますか



(47)コンピュータやタブレットを使って、プレゼンテーション資料等にまとめて発表する授業をしていますか



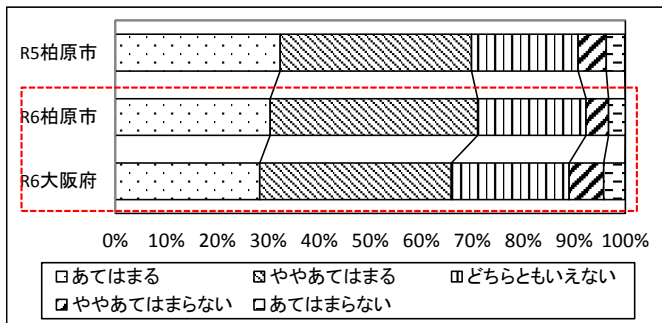
(48)コンピュータやタブレットを使って、児童が考えを共有したり発表したりした後、感想やアドバイス等をコンピュータやタブレットで伝え合う活動をしていますか



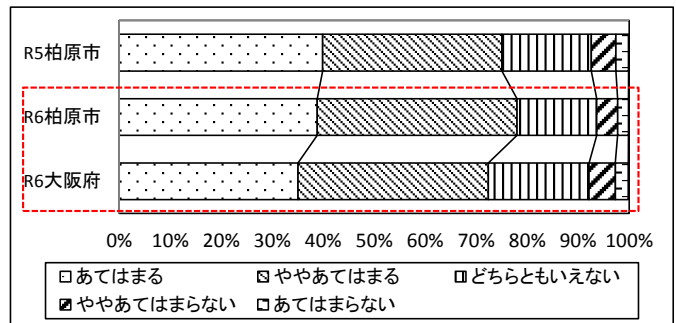
児童アンケート【強みと課題】(5・6年全体)

○強みのみられる項目(府との比較)

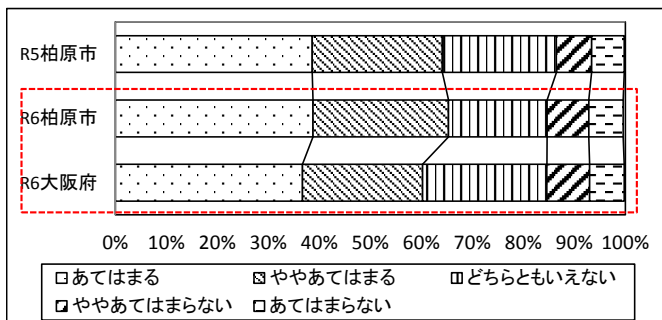
(5) 難しいことがあっても、あきらめない



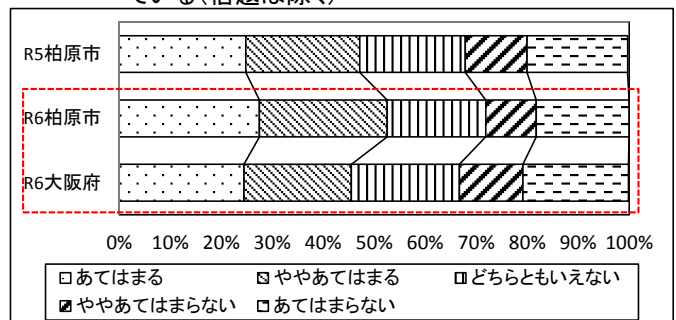
(6) 何事にも一生けんめい努力する



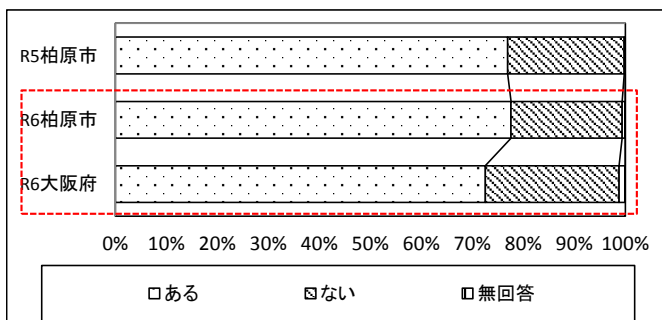
(33) あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない



(56) 自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強をしている(宿題は除く)

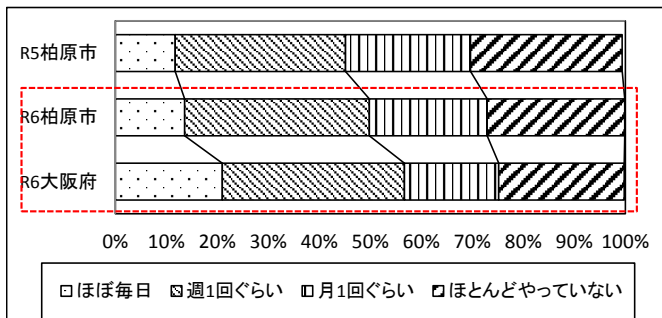


(67) 家の中に決まった勉強場所がある

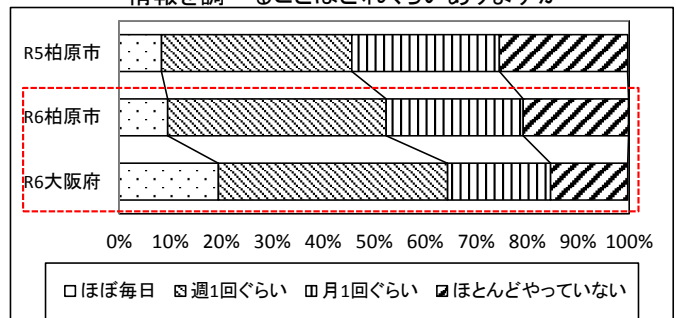


▼課題のみられる項目(府との比較)

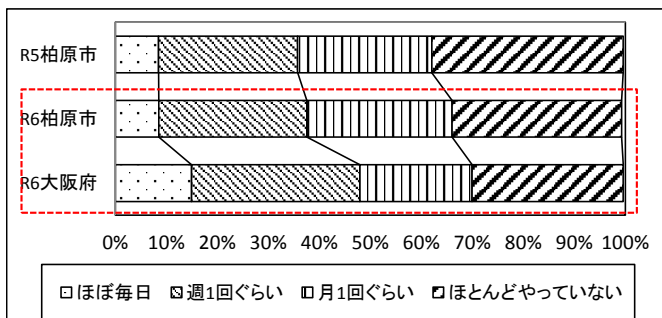
(52) 授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分にあった問題やドリル等に取り組むことはどれくらいありますか



(53) 授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいありますか



(54) 授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか

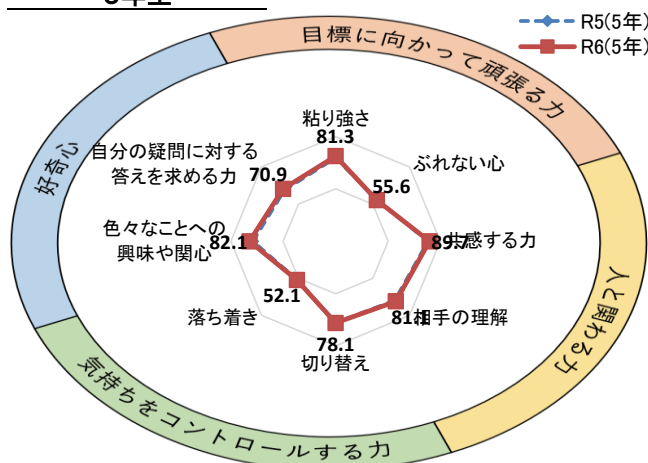


児童アンケート【未来に向かう力と好奇心】

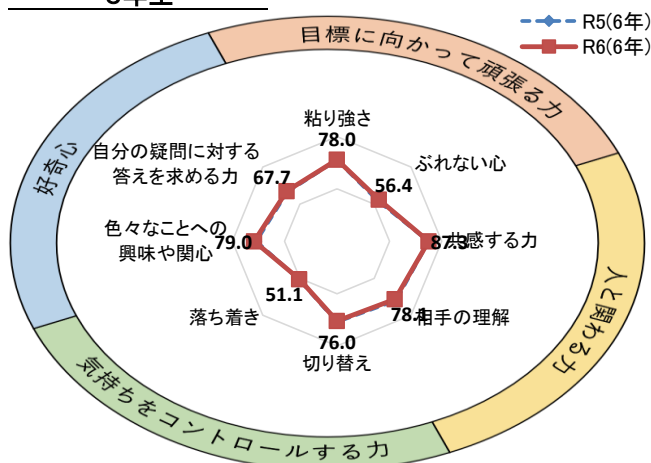
未来に向かう力と好奇心	チャート上の項目名	番号	質問項目
目標に向かって頑張る力	粘り強さ	4	頑張りやである
		5	難しいことがあっても、あきらめない
		6	何事にも一生けんめい努力する
	ぶれない心	7	終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい
		8	新しいアイデアや計画を思いつくと、前のアイデアや計画から関心がなくなる
		9	物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう
人と関わる力	共感する力	10	悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる
		11	人が頑張っているのを見たり聞いたりすると、応援したくなる
		12	まわりに困っている人がいると、早く解決するといいなあと思う
	相手の理解	13	自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわからうとする
		14	人に対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する
		15	人の話を聞くときは、その人が言いたいことは何かを考えながら聞く
気持ちをコントロールする力	切り替え	16	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している
		17	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる
		18	イライラを感じるときは、考え方を変えて落ち着いていられるようにする
	落ち着き	19	自分の気持ちを態度や表情に出す
		20	つらい気持ちになることがあったときは、態度や表情に出す
		21	自分によいことがあったとき、その気持ちを態度に出さない
好奇心	色々なことへの興味や関心	22	新しいことに挑戦することは好きだ
		23	誰もやったことのない物事にとても興味がある
		24	どこに行っても、新しい物事や経験を探す
	自分の疑問に対する答えを求める力	25	はっきりした明快な答えが出るまでずっと考える
		26	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる
		27	ある考えを理解するために、必要な知識をすべて学ばないと満足できない

※ポイント：児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を項目の合計で除して百分率で換算した値（ポイント＝平均÷合計×100）。

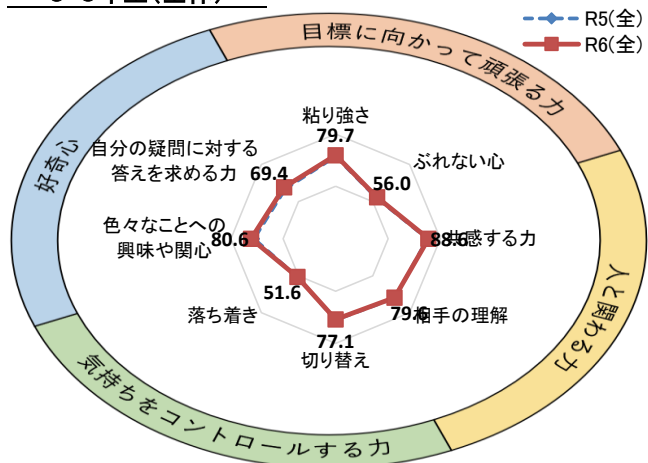
5年生



6年生



5・6年生(全体)



6年生(経年)

